

【緑地の樹】

ツツジ(躑躅)

プロフィール：ツツジ科ツツジ属の常
緑低木。 花広場にあります。

4月末ごろから公園や街路、野山を艶やかに彩るツツジ。盆栽仕立ても捨てがたし。

緑地の花広場では、散在していたツツジを移植し続け、今では広場を縁取るように整然と並んでいる。

3月半ば、頭頂部の葉に守られ、真中に米粒より小さな緑色の蕾が覗いている。5月の青天の下、ツツジが群

れ咲く様は、眼福としか言いようがない。おまけに口福さえも与えてくれる。花の根本を吸ってみると甘い蜜がとろけ出す。ピンク、レッド、ホワイト、パープル等、豊かな色彩の花をグリーンサラダにトッピングしたり、お吸い物に浮かべたり、ほんの少しの酸っぱさが身上でもある。

但し、レンゲツツジだけは止め



モチツツジ



レンゲツツジ

た方が良い。呼吸停止を起こすほど有毒なのだ。レンゲツツジは一般的に朱紅色で、黄色もある。どこかトゲトゲした感じで、口にしたら痛い目に遭うぞと警告を発している、ように見える。

もう一つ鼻福と云うものもある。平戸ツツジの中でも特に白花の放つ香りは格別だ。その甘美な香りは陶酔感に浸らせてくれる。平戸ツツジとは、街中でよく見かける大紫ツツジのことだ。

もうすぐ90歳にならんとする母の手を引いて、ツツジの雲海の中を二人で歩いた事が思い

出される。その時母は、「ああ、綺麗だ、ああ、綺麗だ」とツツジをいだかんばかりだった。足腰も弱り、車椅子に乗ることもあった母がそんな事も忘れたように顔を輝かせていたっけ・・・

(かつた)